

- ①主体的に学習に取り組み、表現できる児童の育成
- ②幼小中一貫教育による、系統的・継続的な指導方法の工夫

学力向上推進員 校長 教頭
教諭(研修主任) 教諭 低学年担当・中学年担当・高学年担当

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 朝の活動の時間や授業中は、与えられた課題に対して真面目に取り組むことができる。基本的な計算に対しては繰り返し学習により、一定の成果が上がっている。	①正しく計算をしたり、漢字を書いたり、文章を書いたりする力を身に付けている。 ②家庭学習にしっかり取り組むことができる。	確認テストを実施し、正答率90%以上の児童が80%以上いる。			
課 題 文章を書くときに、漢字やローマ字を使わない、ものさしを使わないなど、丁寧さや正確さに課題のある児童がいる。家庭による個人差が大きい。	①朝の学習活動で、漢字・計算練習に繰り返し取り組む。 ②毎日、宿題の提出状況を把握すると共に、放課後等に個別指導を行う。	①朝の学習活動を計画的に実施し、週に1回、「確認ミニテスト」を実施する。 ②毎日宿題をほぼ全員が提出する。		評価	次年度における改善事項

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 教師や友達の話を聞き、自分の考えをもち、進んで発言しようとする児童が多い。友達などのよさに気づき、文章を書くことができる。	話す・聞くなどの基本的な学習態度を身に付け、理由を明確にして自分の意見を発表することができる。	「ふりかえりカード」等で、「自分の考えや思いを人に伝えることができた」と自己評価をする子が80%以上いる。			
課 題 正確に文章を読み取る読解力、思考力、表現力が弱い。問題を解くときに、なぜそうなるか説明できない。自分の思いを説明できない。	①教室に掲示している「話し方・聞き方」についてのポイントを活用した指導を行い、一分間スピーチや日記指導等で、自分の意見を発表する機会を設ける。 ②電子黒板の活用・板書・ノート指導を効果的に行う。	①「ふりかえりカード」等で、定期的(月に1回)に、自己評価を行う。 ②校内研修で指導方法について共通理解をする。		評価	次年度における改善事項

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 得意なことは、何度も挑戦できる。やらなければならないことは、やり遂げようとする。素直に指導を受けられることができる。	自ら課題を見つけ、自主学習に取り組み、学ぶ楽しさを感じとることができる。 温かく思いやりのある学級の雰囲気づくりをする。	「学習アンケート」を実施し、『自分から進んで取り組むことができた』と答える児童の割合を80%以上にする。			
課 題 自主的に学習する態度が身につけていない。苦手な問題はあきらめがちで、もっと学習したいという向上心に乏しい。	①家庭学習の手引きを配布し、自主学習の取り組み方を全児童に周知し、優れた自主学習ノートの取り組み例を紹介する。 ②支持的雰囲気のある学級経営をする。	①学年便りに、家庭学習や自主学習の取り組みについての記事を掲載し、懇談会で保護者に知らせ、家庭との連携を図る。 ②月に1回は、全ての児童の意欲的な活動を賞賛する。		評価	次年度における改善事項

平成30年度 学力向上ロードマップ

